

「平成21年度健康被害救済制度に関する認知度調査」（平成21年9月30日） 結果概要

1. 概要
- (1) 主体 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）
 - (2) 方法 インターネット調査
 - (3) 対象
 - ① 一般国民（全国20歳以上の男女3,119サンプル）
 - ② 医療関係者（医師、薬剤師、看護師、歯科医師3,438サンプル）

2. 結果（概要）

（1）一般国民

- 認知
 - ・ 「知っている」 5.3%
 - ・ 「名前は聞いたことがある」 33.8%
 - ・ 「知らない」 60.9%
- 関心
 - ・ 「非常に関心がある」「関心がある」「やや関心がある」 82.8%
- 利用意向
 - ・ 「利用したい」「状況によって利用したい」 84.5%

（2）医療関係者

- 認知
 - ・ 「知っている」 37.2%
（医師 35.8%、薬剤師 68.9%、看護師 11.9%、歯科医師 22.6%）
 - ・ 「名前は聞いたことがある」 42.8%
（医師 49.6%、薬剤師 27.8%、看護師 49.1%、歯科医師 48.7%）
 - ・ 「知らない」 20.0%
（医師 14.6%、薬剤師 3.3%、看護師 39.0%、歯科医師 28.6%）
- 患者への奨励
 - ・ 「勧めたい」 48.7%
 - ・ 「どちらともいえない」 50.4%
 - ・ 「勧めたくない」 0.9%

※ 「勧めたい」理由

…「患者のためになる」（26.7%）「必要・有益な制度」（20.1%）

※ 「どちらともいえない」「勧めたくない」理由

…「必要書類が複雑・面倒」（34.4%）、「時間がかかる」（33.8%）
「不支給の場合責任を問われる」（23.7%）